

三〇三五番

暁あかときの 朝霧あさぎり隠り かへらばに なにしか恋こひの
色いろに出いでにける

三〇三六番

思おもひ出いづる 時ときはすべなみ 佐保山さほやまに 立たつ雨霧あまぎり
の 消けぬべく思おもほゆ

三〇三七番

切目山きりめやま 行きかふ道みちの 朝霞あさがすみ ほのかにだにや
妹いもに逢あはざらむ

三〇三八番

かく恋こひむ ものと知りせば 夕ゆふへ置おきて 朝あしたは
消けぬる 露つゆならましを